取扱説明書
ネッターエアーバイブレータ NCB, NCR, NCT シリーズ

安全について

据付時はエアー供給が停止していることを確認してください。配管の接続はきつく締め付けてください。不十分な締め付けは怪我の原因になります。

弊社の許諾のない、当機の技術的な仕様変更や構造の修正による機器損害及び人災に対し、また当取扱説明書に記載の注意及び規制を遵守されずに起きた故障、事故に対し弊社は一切責任を負いません。

はじめに

ネッター社製エアーバイブレータは EC 機械指令(2006/42/EC)に従い、特に DIN EN ISO 規格(DIN EN ISO 12100)のパート 1、2 を遵守しています。
このバイブレータは回転式となります。一般的な用途は排出促進、搬送用シュート、ふるい、振動テーブルに使われます。バルク、紛体のブリッジ、ラットホール防止や流動促進にも使用されます。
食品工場、ウェットな領域、屋外や粉塵環境下での使用も可能です。振動数と振動力は供給されるエアー圧によって決まります。

駆動源:

フィルター(≤5um)を通した 0.2~0.6MPa の圧縮エアーあるいは窒素ガスを供給して下さい。本機器は潤滑油なしで動作は可能ですが、NCB/NCR タイプは潤滑油を使用することで使用寿命が延びます。

フィルターなしのエアーは機器に損傷を与える原因となります。また供給エアー圧力は 0.6Mpa を超えないようにして下さい。

ノイズレベル:

ノイズレベルはバイブレータのタイプ・エアー圧によりますがサイレンサー装着時 75~85dB です。圧力が低くければノイズレベルも減少します。少しでもノイズレベルを下げるためにサイレンサーの装着を推奨致します。

据付

本機器は水平レベルの整ったきれいな表面上に 2 本のボルトで固定します(ボルトサイズと締付トルクは表参照)。ボルトが緩まないようにセルフロックのワッシャー、ナット、ロックタイトを使用して下さい(スプリングワッシャーは使用しないで下さい)。土台のような補強部を使用することを強く推奨します。この補強部は被振動体に溶接して下さい。

供給エアー:

配管の長さに比例してエアーの抵抗は増加します。したがって 3mを超える場合は表に記載しているサイズより大きいサイズのものを使用して下さい。

エアー排気:

排出ラインの配管を供給ラインのサイズより大きくすると排気エアーは十分に流れ、タービンバイブレータなどはフルパワーで稼働します。

タイプ	ボルトサイズ	締付けトルク	エアー用ネジ径	配管径	水中使用	潤滑油	使用温度
NCB1,2	M6	10.4 Nm	G 1/8	NW 6	不可	要	-20~+200℃
NCB3,5,10,20	M8	25.0 Nm	G 1/4	NW 10			
NCB50,70	M10	51.0 Nm	G 3/8	NW 12			
NCR3	M6	10.4 Nm	G 1/8	NW 6			
NCR10,22	M8	25.0 Nm	G 1/4	NW 10			
NCR57	M12	86.0 Nm	G 3/8	NW 12			
NCR120	M16	215.0 Nm	G 3/8	NW 12			
NCT1,2,3,4	M6	10.4 Nm	G 1/8	NW 6	可	不要	-20~+120℃
NCT5,10	M8	25.0 Nm	G 1/4	NW 8			
NCT15,29	M8	25.0 Nm	G 1/4	NW 10			
NCT55,108	M10	51.0 Nm	G 3/8	NW 12			
NCT126,250	M16	215.0 Nm	G 3/8	NW 12			

試運転および操作

本機器を据付後すぐに試運転を実施して下さい。エアー供給システムがエアー消費量に適しているか確認して下さい。さもなければ仕様動作を満たすことができません。

使用環境温度:
NCB/NCR シリーズ　-20~+200℃ (耐熱ホースニップル、メタルサイレンサー使用時)
NCT シリーズ　-20~+120℃

NCT シリーズは大気中に排気できるように配管すれば液体中での使用が可能です。

NCT1/NCT2 について:

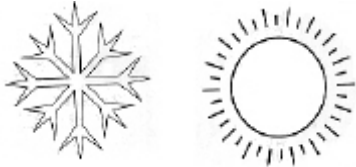
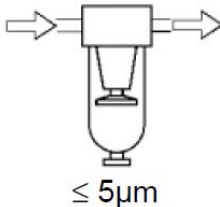
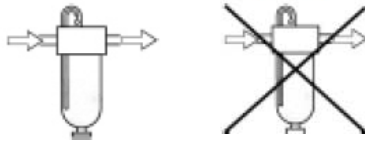
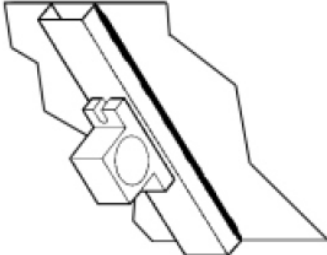
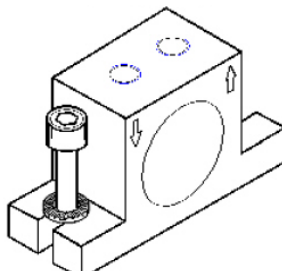
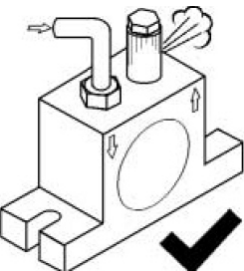
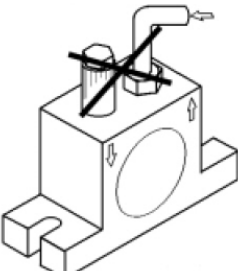
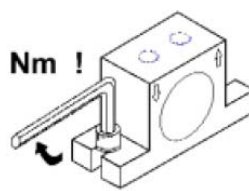
NCT1/NCT2 は高い効果により高速回転します。したがって連続使用すると寿命が短くなり、またノイズレベルも非常に高くなります。これらの機器を使用する際はできるだけ 0.2~0.3MPa でご使用いただくか、使用間隔を空けて使用することを推奨します。

チェックリスト:

1. 据付は十分気をつけて行ってください。
2. エアー3 点セット(フィルター、潤滑、レギュレータ)をご使用ください。
3. 潤滑油の滴下量は 1 時間あたり 2~5 滴です
4. 固定ボルトの緩み、エアーホースの長さ・径を再確認してください。

メンテナンス

NCT シリーズは基本的にメンテナンスが不要です。ウォータージェットなどで外観をクリーニングして下さい。
NCB/NCR シリーズは潤滑油を滴下してください(2~5 滴/h)。潤滑なしで長時間使用すると内部ローターとキャップの摩耗が起こり、振動低下や停止する可能性があります。
必要なとき、フィルターやサイレンサを清掃あるいは交換して下さい。

供給エアーが汚れているとサイレンサに影響を与えますので極力クリーンなエアーを供給して下さい。

試運転 1 時間後に一度緩みを点検し再締付を実施して下さい(以後は 1 ヶ月に 1 度の点検推奨)。

廃棄方法:

使用不可となった各部品は分別処理し廃棄もしくはリサイクル処理願います。

早見チェック表

 使用圧力範囲：0.2~0.6MPa **注：**0.6Mpa **を超えないように！**	 **使用環境温度：** NCB/NCR **シリーズ** -20℃~200℃ *1 NCT **シリーズ** -20℃~120℃ *1 **耐熱ホースニップル、メタルサイレンサー使用時**	 ≤5um **のフィルターを通過させたの圧縮エアーまたは窒素ガスを使用ください。**	 **潤滑油：** NCT **シリーズは不要。** NCB/NCR **シリーズは** 2~5 **滴**/h **推奨**
 土台のような補強部を使用することを強く推奨します。この補強部は被振動体に溶接して下さい。	 **据付時はエアー供給ラインがオフになっていることを確認してください。**	 **締付トルク値を順守してください。**	 **ボルトが緩まないようにセルフロックのワッシャー、ナット、ロックタイトを使用して下さい（スプリングワッシャーは使用しないで下さい）。**
 供給と排気の正しい配管。	 **供給と排気の間違った配管。**	 NCT **シリーズは大気中に排気できるように配管すれば液体中での使用が可能です。**	1 **月** / 2 **月** / 3 **月** ..... 1 **ヶ月に一度増し締めを行ってください。**

販売元：NVN 株式会社
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀 3-38-4
TEL 0422-26-1141 FAX 0422-43-6010 http://nvn-japan.com